

北海道における地域交通は鉄道と公共バスが広い地域を繋いできました。しかし鉄道はすでにいくつかは廃線となり、今後も赤字の路線がほとんどを占め、その存続のゆくえをさぐることは容易ではありません。しかしそのような中で、地域交通の可能性を追求し続けてきた交通事業者があります。その企業家に地域からみた将来の持続的な交通について熱く語っていただきます。

持続的な 地域交通の ゆくえ

そしてもうひとつかた、諸外国、日本各地の交通をめぐり、地域における公共交通が生き残る道を、統計経済をベースに多角的にとらえ、将来のまちづくりの提案に繋げていらつしやる研究者に事例を語っていただき、これからの北海道の交通の「ゆくえ」を探ってまいりたいと考えます。



Photo by Utsunomiya Kiyohito



10月10日 日 14:00~16:30

北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W103

■ 講演

人口減少時代における持続可能な『街づくり』のための地域交通の在り方

— 十勝バス40年ぶりの利用者増加の実例 —

十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾 氏

地域公共交通政策を考える

— 欧州の動向を踏まえて —

関西大学経済学部・教授 宇都宮 浄人 氏

■ パネルディスカッション

パネリスト

十勝バス株式会社 代表取締役社長

野村 文吾 氏

関西大学経済学部・教授

宇都宮 浄人 氏

コーディネータ

北海道大学大学院経済学研究院教授

吉見 宏

参加自由

入場無料